

第2号様式（第11条関係）

意見公募手続(パブリックコメント)に対する意見等の概要及び検討結果

- 1 案 件 名：鹿屋市情報化計画
- 2 意見の募集期間：平成30年12月14日～平成31年1月15日(33日間)
- 3 意見提出者：1人
- 4 意 見 数：1件

〈検討結果区分〉

A：策定案に反映できるもの	件
B：既に盛り込み済みのもの	件
C：今後の参考となるもの	件
D：反映できないもの	件
E：その他感想や質問など	1件
計	1件

番号	意見等の概要	検討結果の区分	意見等に対する検討結果
1	鹿屋では情報収集というと相手を打ち負かす、もしくは無責任状態を指すように感じられますが、本来の意味は大勢の人に感謝されることを意味します。本来人には、個性があり、イライラするのを防ぐため、スピードを要求します。それは難問だからです、だから、解決できる人を捜します。それが何も事情を知らない人に集中しがちです。人間は常に逆のことをします。ですが、自分が解決能力が無いにもかかわらず、勝負を好むので、簡単なものに集中、そして人に頼りがちです。つまり、ここでは人がすべてになります。だが、短期決戦なら良いでしょうが、長期戦なったら負ける可能性が高いことになります。人は全員古い、いつの日か亡くなります。それが長いか短いかは本人が決めます。本人だって感謝されたい気持ちは名峰富士山よりも高いでしょう。人は会って見ないとわかりません。また、個性というものがあ	E	ご意見として承り、今後の市政運営の参考とさせていただきます。

	<p>るので、お金の使い方だったり、女性の見方、男性の見方、職業に対しての意識など、さまざまです。そして国際化なり、都市化、そして巨大な市場（食物と土地）が人を変えていくでしょう。そうすると一変に問題がふき出るようですが、必要なことしかしないということは、必要のないことは全く対応していないことが問題なのです。ですから、電話（固定電話も）も普及するのに時間がかかりました。携帯も多機能という状態はいつまでも続きません。また、40～50代は（実は）よく学び、よく働き、よく遊べの精神で、休けい時間なり、勉強する時間がありません。20代を過ぎたら30代のやり方、40代になったらのやり方、50代になっても変わらないやり方だと、本当に必要とする情報する時間は全くといっていい程無いか、去っていく（食べ物があっても調理する人は少ないです。）可能性が高いので、情報化一挙に進める方策とは、低電力、低充電、低簡素、低危険性、高修繕性、低金額、独創性、軽量化、そして危険な時はバスの運転手が心臓発作になった時に停止出来るような（だれでもどんな人でも）しくみづくりが大事。スマホを意外と見ていない、インターネットを見ていない人にとって、新たな機器が誕生するでしょう。いずれわかるでしょう。</p> <p>（意見については、原文のとおり記載）</p>		